

熊本県中小企業魅力の認識拡散プロジェクト

中小企業に特化したインターンシップの実践とパネルディスカッションの開催

プロジェクトメンバー

尚綱大学 文化言語学部 教授・所吉彦

連携機関 熊本県中小企業診断協会

プロジェクトの概要・目的

地元就職率の向上のためには、大都市圏流出を抑えるべく、新たに県内に魅力ある就業先を創ることが必要である。その一方、県内には数多くの中小企業および創業間もないベンチャー企業も多く存在している。新たな就業先を創るより即効性のある、これらの就業先を多くの学生に魅力あるものとして認識してもらう環境を整え、県内就職率向上に貢献する。熊本県中小企業診断協会主催、熊本県、熊本市、商工会議所連合会、商工会連合会、くまもと産業支援財団等が後援する平成 28 年度新入社員研修講座に参加協力する企業等を中心に、余り例のない中小企業に特化したインターンシップ実践と中小企業魅力浸透のためのイベントを開催した。延べ 15 回の企業訪問の結果、報告書を取りまとめ、その要旨について 2016 年 11 月 19 日に成果発表を行った。

活動内容と成果・効果

本プロジェクトの具体的成果として次の 2 点とする。①地元中小企業のインターンシップに特化し、大企業と比較検討させ、その魅力を認識させることができた。②インターンシップ体験を個々の学生個人に留まらず、全員の成果発表、およびその後の質疑応答、中小企業の魅力を討議、振り返りの場を持ったイベントを開催し、地元中小企業の魅力を拡散、浸透させるきっかけをつくることができた。

具体的な成果発表会の場合には、菊陽町商工会事務局長、理事始め、近隣中小企業者、学生等数十名が参加した。内容は、学生が 6 企業団体にそれぞれ複数回訪問し、入社年度の浅い若手社員へのインタビュー調査を行い、地元中小企業の魅力、働き甲斐をまとめたものを報告した。大企業へインターンシップを行った学生とのミニ討論会も開催し、地元中小企業の魅力、働き甲斐を模索するきっかけの場を提供した。

平成 28 年 11 月 19 日（土）開催

『県内中小規模企画に就業する魅力とは？』 —学生による公開プチ討論会—



プチ討論会ちらし



学生による成果発表の様子



成果発表を聴講する様子